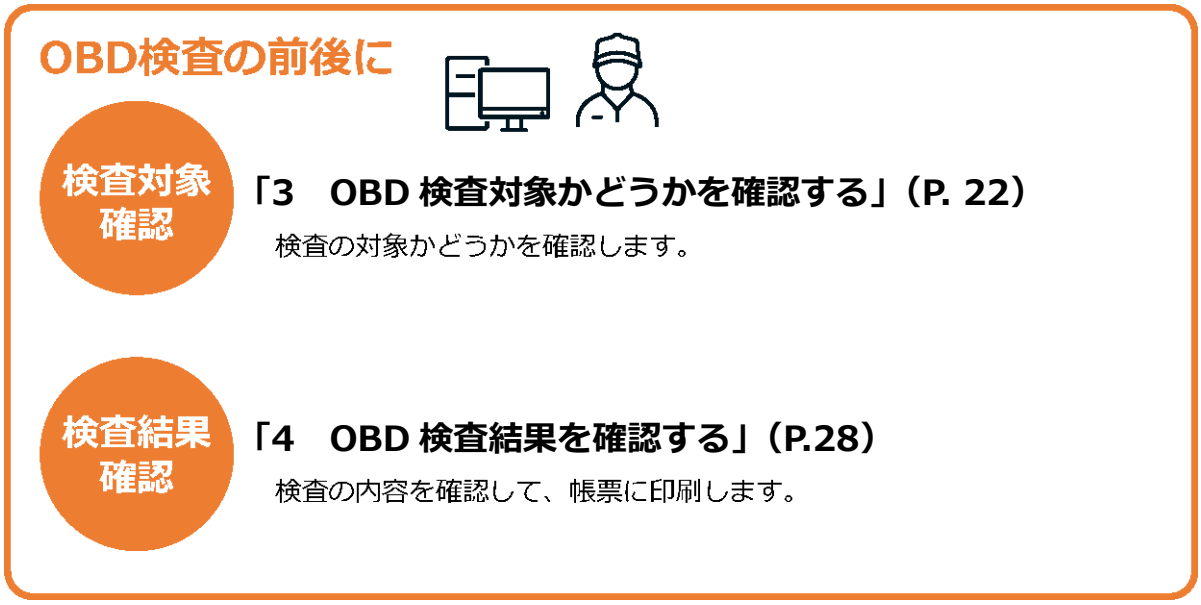
1　はじめに

1.1　OBD 検査結果参照システムとは

OBD 検査結果参照システム（以降「本システム」）は、特定 DTC 照会アプリを用いて行った OBD 検査の結果を確認して出力したり、OBD 検査の対象であるかどうかを車両情報から確認するためのシステムです。



本システムは、PC（パソコン）からインターネットを通じて利用できる Web システムです。
システムのメンテナンス時間を除いて、24 時間 365 日利用できます。

メモ

システムのメンテナンス時間は、あらかじめ「お知らせ」で通知されます。「お知らせ」の確認方法は、「2.3 お知らせを確認する」を参照してください。

■OBD 検査とは

OBD 検査とは、自動運転技術などに用いられる電子制御装置が適切に機能しているかを確認する検査です。国の定める自動車検査の検査項目として、令和 6 年 10 月 1 日（輸入車は令和 7 年 10 月 1 日）に新たに追加されました。OBD 検査の対象となる車両は、国産車は令和 3 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）、輸入車は令和 4 年 10 月 1 日以降の新型車（フルモデルチェンジ車）です。

メモ

- OBD 検査の対象となる車両の車検証には、「OBD 検査対象車」（電子車検証の場合は「OBD 検査対象」）などの記載があります。
- OBD 検査の対象となる車両であっても、以下に該当する場合には、OBD 検査が不要となります。OBD 検査の要否は、アプリまたは OBD 検査結果参照システムで確認してください。
  - 型式指定の日から 2 年を経過していない車両
  - 初度登録年月または初度検査年月の前月の末日から起算して 10 ヶ月を経過していない車両

■本システムの機能

特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

特定 DTC 照会アプリをダウンロードします。ダウンロードした特定 DTC 照会アプリは、各事業場で使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に展開します。

OBD 検査が必要な車両かどうかの確認

型式や初度登録年月から、OBD 検査が必要な車両かどうかを確認します。

OBD 検査が必要な車両の場合、検査用スキャンツールを接続するための車両側の接続端子の位置情報など、OBD 検査や OBD 確認を行うときに参考となる情報も確認できます。

「3　OBD 検査対象かどうかを確認する」を参照

メモ

特定 DTC 照会アプリにも OBD 検査の要否を確認する機能がありますが、OBD 検査および OBD 確認の一環のため、目的が異なります。

OBD 検査や OBD 確認の結果を確認

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両において、OBD 検査の実施日や車両情報から過去の OBD 検査結果を確認します。

さらに、OBD 検査または OBD 確認を実施した車両の検査結果詳細を、CSV ファイルや PDF ファイルとして出力もできます。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用できます。出力した PDF ファイルは、OBD 検査後に印刷して受検者にお渡しできます。

「4　OBD 検査結果を確認する」を参照

1.2　ご利用の前に

本システムをご利用になる前に、以下の内容をチェックしてください。

- ☐ **利用する PC がインターネットに接続されている**
- ☐ **利用する PC の OS が Windows 11 である**
- ☐ **対象ブラウザ「Microsoft Edge」または「Google Chrome」が使える**

  どちらのブラウザでも使えます。

  Microsoft Edge　Google Chrome
- ☐ **「.NET Framework」がインストールされていること**
- ☐ **ユーザーID とパスワード（「特定 DTC 照会アプリ」と共通）を取得している**

  ユーザーID とパスワードを通知されていない場合は、管理責任者または管理責任者にお問い合わせください。管理責任者または統括管理責任者が、利用者管理システムでユーザーID とパスワードを取得します。
- ☐ **利用する PC に、クライアント証明書がインストールされている**

  使用する端末には、1 つの Windows ユーザーにつき、1 つのクライアント証明書が必要です。クライアント証明書のインストールについては、管理責任者または統括管理責任者に確認してください。

  （『利用者管理システム 操作マニュアル』を参照）